



大蔵だよい

- 発行日：平成26年12月5日
- 発行：大蔵地域自治協議会
広報委員会
- 住所：朝来市和田山町宮田186番地3
大蔵市民会館
TEL 079-672-5651 (ファックス兼用)
Email ookura186-3@asago-net.jp

じろはったん村まつり・文化祭を開催しました

10月26日(日)第4回大蔵じろはったん村まつりを開催しました。また、前日の25日(土)正午からは第30回大蔵地区文化祭として同時開催を行いました。

今年の村まつりは、晴天にも恵まれ、新しいコーナーも取り入れ、期待に包まれ始めました。

こども園会場では、従来から好評であった「ちょっと昔の大蔵写真展」に加え、小学校環境学習写真展、防災啓発展示やお茶席コーナーも設けました。そして、屋外会場では、各地区の屋台出店はもちろん、千寿棒づくりや農



▲館内では沢山の力作が展示



▲ヨーヨー吊りは子どもに大人気



▲わた菓子も行列が絶えません



▲まなび隊のダンスに盛り上がる

業機械こども試乗体験コーナーもあり、大人も子供たちも興味津々で、活気あふれていました。

12時からの屋外イベントでは、多次市長の来賓あいさつの後、さんさん会-和-の皆さんにより明るく元気に、よさこい「じろはったん」等を踊っていただき、次の「DANCE!ちいはいっぱ」による、かわいらしいダンスから本格的ダンスへと続けました。見ごたえたっぷりで、盛り上げていただき、最後には、大蔵小学校金管バンドで楽しんで村まつりが進みました。

午後の芸能発表会では、じろはったんの会の皆さんによる紙芝居「お葉つきいちょう」を皮切りに、舞踊、謡曲、楽器演奏、踊り、ダンスなどの日頃の練習の成果が発表され大盛況でした。

また、前日から開催の文化祭展示には、山野草展や地区の皆さんの趣味の作品を始め小学校児童、こども園児等の多くの作品をたくさんの方々に観賞していただきました。

最後、芸能発表終了後は、大蔵ふるさとネットワーク提供の3斗分の餅まき(約2,000個)が行われ「じろはったん村まつり」を閉じました。ご参加頂きました多くの皆様に感謝申し上げます。



▲大きな農業機械に子ども達は大興奮



▲お茶席には100名以上のお客様



▲大蔵小学校金管バンド演奏



▲まつりの最後は餅まきで大賑わい

生活安全部会

阪神淡路大震災を風化させないために！

11月16日(日)、視察研修で神戸の「人と防災未来センター」と「震災メモリアルパーク」に出かけました。

人と防災未来センターでは、映像や展示パネル等で当時の震災の状況や取り組みを学び、展示物(震災直後の建物等が原寸大で再現してある)で震災当時の様子を感じることができました。

震災メモリアルパークでは、メリケン波止場の一部(岸壁60m)が被災時のまま保存された状態を見学しました。



▲人と防災未来センターを見学

2ヶ所を廻り、震災の記憶が鮮明に蘇り、改めて人間は忘却の生き物

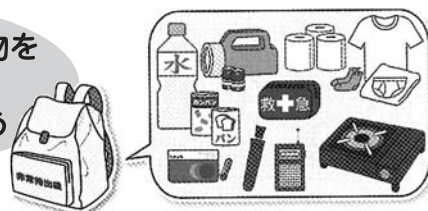
だと痛感致しました。今後も風化させないよう努めたいものです。

又、今後、生活安全部会では防災力の向上に講演会等を催す予定です。たくさんの方の参加をお願い致します。(文責 阿野 幸司)



▲人と防災未来センターで研修

地震の時に必要な物を
家族で相談しながら
用意しておきましょう



「愛の即売会」と「グラウンドゴルフ大会」

健康福祉部会

◆大蔵地区「愛の即売会」開催

11月1日(土)朝来市社会福祉協議会主催の「愛の即売会」が大蔵小学校体育館で開催され、自治協も支援しました。多くの方に来場して頂き、また心のこもった品々が開始とともに、みるみるうちに購入されていきました。

本年度は「浄財コーナー」を設けて、値付けのし難い品は、お気持ちを募金として頂きました。収益(143,955円)は社会福祉協議会を通じて各施設の事業運営に使われるとのことです。ご協力ありがとうございました。



▲体育館は多くの支援品でいっぱい

◆グラウンドゴルフ大会開催

11月8日(土)大蔵地区の親睦とスポーツの秋を満喫・健康増進を目的としたグラウンドゴルフ大会を養父市



▲今年也大盛り上がりのグラウンドゴルフ

の円山川グラウンドゴルフ村で開催しました。参加者は80名、16チームで競い合いました。当日は気温が低く肌寒さを感じましたが、中盤には柔らかな陽射しに包まれ、選手の気迫のこもったプレーに湧き上がりました。成績発表には拍手と歓声で讃え合い和気あいあいの楽しい大会になりました。

(文責 足立 邦子)

グラウンドゴルフ大会成績

- 1位 田中 敏昭 (高田)
- 2位 山中 正夫 (東谷)
- 3位 松田 晴樹 (土田)

お知らせ 2月22日(日)午後1時30分～大蔵市民会館にて恒例の「笑おう会・健康教室」を開催します。2月初旬に全戸配布チラシで詳細をお伝えしますので、多くの皆さんの参加をお願い致します。

環境部会

サツマイモ掘りと水棲生物観察会

10月20日(月)、雨模様の合間を縫うようにして、こども園と1年生がサツマイモ掘りを行いました。掘り易いようにスコップで根元の土を起こしていたので、つるの根元を持って引っ張ると、大きなイモが連なって土の中から顔をのぞかせ、子供達は大喜びで、持って来たバケツに入れ、嬉しそうに持ち帰りました。



▲ 川の水はちょっと冷たかったよ

23日(木)には、台風の影響で延びていた円山川の水棲生物観察会を3年生が行いました。肌寒く水量も少し多目でしたが、元気に水に入り、川岸の草の茂みにタモを当て、慣れない手つき足つきで懸命に捕獲に挑戦していました。来年も水棲生物観察会を行いますので、皆さんも参加してみてもいいかなと思います。



▲ 大きなサツマイモが掘れたよ～

(文責 雑賀 忠文)

じろはったんテーブル作製

交流と魅力づくり部会

これまでじろはったんベンチを48脚作製し、各区等に設置してきました。これでほぼ目的を達成したものとしますので、今年は催事等に活用していただくためにテーブルを作製することにしました。

作製にあたっては、初めての作品になるので大きさをどの程度にするのか、折りたたみ式にすればどの様な金具がいるのか、色々と検討を重ね、天板加工には岩崎製材様のご協力を得、その後試作品に半日、材料調達に半日費やして、それを部会スタッフが夕方までかかって8脚を組立てました。

作業当日は、介護施設利用者の方々が沢山見学に来られ励ましていただきました。

ペンキ塗り作業を後日に防水・防腐剤用ペンキを使用し半日かかりで木目調に仕上げました。

今年度は予算の関係で8脚の作製となり、全ての区には配布出来ませんでしたが、今後皆様のご意見を伺いながら改良を重ねて利用しやすいテーブルを作成していきたいと思っています。



▲ 今年はテーブル作りに挑戦

(文責 山中 秋信)

まなびたい部会

恋するフォーチュンクッキー踊りました

大蔵まなび隊では、毎年文化祭の芸能発表会で踊りを発表しています。今年は、さんさん会-和-のみなさんに指導に来ていただき、「恋するフォーチュンクッキー」を披露しました。

踊りの苦手な子、人前へ出ることが恥ずかしいと感じる子もあったでしょうが、隊員みんなで一つのことに向かって頑張ることを目標として、練習を積み重ねてきました。

本番当日は、全員が元気よく楽しく踊れて、会場も盛り上がりました。ステージ後の子供たちはとてもいい表情をしていました。応援してくださったみなさんありがとうございました。

(文責 川見 由紀)



▲ 会場が盛り上がったまなび隊のステージ

文部科学大臣賞受賞!!

大蔵まなび隊の活動と各部会で取り組んでいる学校支援活動等が認められ、大蔵地域自治協議会に文部科学大臣賞を頂きました!

今後も大蔵の子どもを育てていく活動に力を入れて行きたいと思います。

姫路福祉まつりに行ってきました

11月3日(月)、姫路城前の大手前公園にて「姫路福祉まつり」が開催されました。「姫路手をつなぐ育成会」とじろはったんの繋がり、じろはったん米、じろはったん煎餅、じろはったん饅頭の広報・販売を行なって来ました。心のバリアフリー化を目標に村づくりを進めている大蔵としても、福祉活動を進めていきます。



▲大手前公園での販売風景

ふるさと大蔵

わがむら歳時記

宮内区



大蔵地区内の各区で大切に守られている行事などを紹介するコーナーです。第5回は宮内区です。

里やまのふるさと宮内区

宮内区長 小谷 勇

和田山町の最西端に位置する宮内区は戸数38戸の小さな集落で、豊かな自然と里やまに囲まれた、環境に恵まれた地区です。

居住に適しているのか、古代石器時代から縄文・弥生時代には人々が住み着いていたと見られ、数多くの住居跡、古墳等が点在しております。発掘された埋蔵文化財には貴重なものが多く、朝来市郷土資料館に展示されているものもあります。

集落の奥まった場所には県下有数の県社^{みつおか}盈岡神社があります。創祀は1500年以前と言伝えられています。それを証すものが平松棚包(法道寺485)の敷地内に盈岡神社旧跡と記された天然石があり、その横に一之鳥居旧蹟と掘られた建石があります。本神社は厄除八幡宮

として祀られ、三体の灼かな祭神は^{あら}菅田別名(応神天皇) ^{ほむだわけのみこと}息長足姫命(神功皇后) ^{おきながたらしひめのみこと}武内宿禰で、それぞれの御神徳は^{たけうちのみこと}国家鎮護、家運隆昌、心願成就、延命長寿、厄除等です。

毎年正月18日に執り行われる但馬随一の厄神祭には各地より多くの参拝者が訪れます。居ながらにして御利益などあり得ません、是非一度足を運ばれてみては如何でしょうか。



▲盈岡神社本殿

森はなとふるさと～但馬あさご～

11月1日～12月7日の会期であさご芸術の森美術館にて森はなさんの展覧会が開催されています。直筆原稿や梶山俊夫先生の挿絵原画の他、森はなさんが書かれた恋文なども展示されています。

11月1日のオープニングには但馬ミュージカル研究会によるコーラスが、29日にはじろはったんの会による紙芝居が行われました。

開催期間もあとわずかですが、まだご来場でない方はこの機会に是非、森はなさんの「人をいとおしむ」「自然をいとおしむ」「社会をいとおしむ」「ふるさとをいとおしむ」心にふれてみて下さい。



▲オープニングのじろはったんコーラス

追悼

大蔵地域自治協議会理事で土田区長の細見昇氏が、去る10月31日逝去されました。

学校卒業後、横浜で定年まで勤務の後、和田山町に帰郷され、町公民館補助員として勤務、平成21年から1年間大蔵地域自治協議会職員として、大蔵まなび隊や趣味の講座など担当され、土田区長就任に続き大蔵地区区長会副会長に就任、平成24年5月から本年5月の通常総会まで自治協議会副会長として、大蔵地区の振興、活性化に尽くされました。

優しく穏やかな性格で、笑顔で人と接する細見さんの姿が今もって浮かんできます。あらためてご冥福をお祈り致します。